

アレルギー診療 そのときどうする？

正誤表

このたびは『medicina』63 巻 2 号 (2026 年 2 月号)「アレルギー診療 そのときどうする？」をご購入いただきまして誠にありがとうございます。

本誌におきまして、以下の誤りがございました。ここに訂正させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。

2026 年 2 月 17 日作成 2026 年 2 月 24 日更新

訂正箇所	誤	正	掲載
神尾 敬子・城 暁大「喘息を疑ったら、何をすればよい？」p.224・著者所属	かんお けいこ・じょう あきひろ：東京女子医科大学内科学講座呼吸器内科学分野 ☎162-8666 東京都新宿区河田町 8-1/九州大学大学院医学研究院呼吸器内科学分野	かんお けいこ：東京女子医科大学内科学講座呼吸器内科学分野 ☎162-8666 東京都新宿区河田町 8-1 じょう あきひろ：九州大学大学院医学研究院呼吸器内科学分野	2026/2/17
神尾 敬子・城 暁大「喘息を疑ったら、何をすればよい？」p.226・本文右段・上から 11 行目	喀痰好中球比率の増加（2～3%以上）は、好酸球性気道炎症をより直接的かつ信頼性高く反映する指標である。	喀痰好酸球比率の増加（2～3%以上）は、好酸球性気道炎症をより直接的かつ信頼性高く反映する指標である。	2026/2/24